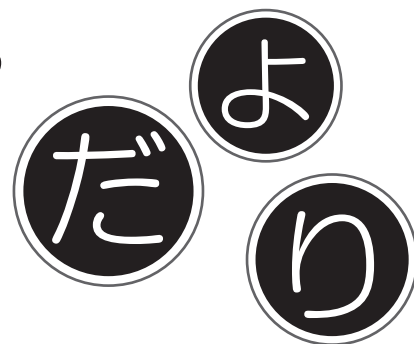




MATSUE CITY COUNCIL  
NEWS LETTER

# 市議会



佐陀神能と佐太神社（鹿島町）

## 議会をもっと身近に あなたと市政を結ぶホットライン

### 議会の動き



8月25日～26日

姉妹都市 宝塚市・松江市議会議員  
交流研修会（松江歴史館）



10月3日～11日

議長ニューオーリンズ市表敬訪問



10月11日～13日

総務委員会行政視察（佐賀市）



10月26日

島根原子力発電対策特別委員会現地視察  
（島根原子力発電所津波対策）

# 9月定例会

平成23年9月7日～9月30日

## 補正予算案・平成22年度決算など

58議案を原案どおり可決、承認、認定

9月定例会では、特例市の指定の申出についての議案、駅前駐車場管理体制の見直しに伴う条例改正や、雪害や東日本大震災を教訓にした安心・安全なまちづくり関連事業、合併関連事業、一般経費など総額7億4,186万6千円の一般会計補正予算など市長提出案件52議案と、委員会・議員提出案件6議案を可決、承認、認定しました。

また、決算特別委員会を設置し、平成22年度決算について議長、監査委員を除いた議員全員で審査を行い、24年度予算に向けて審査意見を反映するよう要望しましたので、審査結果を報告します。

### 9月補正予算の主なもの

#### 安心・安全なまちづくり関連事業 … 1億1,030万5千円

新体育館基本計画策定や除雪作業車の購入、庁舎の自家発電や通信機能の再整備、自主防災組織の育成強化や地域防災指導員の設置、衛星携帯電話の整備など16事業です。

#### 合併関連事業 … 483万7千円

ものづくり産業の現状の課題整理と今後の取り組み、図書館の相互活用事業などです。

#### 一般経費 … 6億3,292万4千円

24時間対応訪問介護調査研究、待機児童解消保育所施設整備費補助金、大腸がん検診無料化、水産振興、観光振興、地域のまちづくりなど16事業です。

### 決算に対する結果と主な委員会意見

#### 一般会計 … 認定（多数）

- ①実質公債費比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率のいずれも前年度数値から改善している。引き続き改善に努め、最小の経費で最大の効果を実現されたい。
- ②市民の期待、要望に応えるため、投資的経費を一定水準確保されるとともに収納率の向上に努められたい。
- ③財産、土地建物等について市民サービス向上に向けて積極的な対策を講じられたい。
- ④扶助費については、就労支援はもとより構造的な改善について国に要望を望む。
- ⑤企業誘致については、独自性を更に特化して取り組まれたい。
- ⑥イベントは目的を明確にし、目標を立てて取り組むとともに、可能な限り企画、運営の委託について地元発注されたい。

#### 国民健康保険事業 … 認定（多数）

- ①実質収支が赤字にならないよう望むとともに、長期的、安定的に運営するためにも、国・県に抜本的な制度改革を要請されたい。
- ②特定検診の検診率のアップと人間ドック事業の拡大をお願いする。

#### 簡易水道事業 … 認定（多数）

- ①年末年始は、雪害による断水などがあったが、懸命な努力が見られた。今後とも災害に備えられたい。
- ②独立採算が困難な事業であり、多くの個別集落を抱える地方自治体の状況など、地方の特殊事情に理解を求め、健全経営が図られるよう、国、県への要望活動等に取り組まれたい。

#### 水道事業会計 … 認定（多数）

- ①窓口業務の民間委託など経営健全化に努められているが、今後簡易水道との統合・受水費の増も見込まれる。経費の抑制と適正な運営に努力されるとともに、サービスの向上、業務の効率化に努められたい。
- ②計画的な老朽管改修と早急な耐震チェック等により信頼度を高められたい。

#### 病院事業会計 … 認定（多数）

- ①過去最高益が計上されたが、他会計などの補助金依存度も高い。市民の病院であることの認識を深め、みんなで支援していくことが大事である。引き続き適正な運営に心がけられたい。
- ②医療スタッフの要員確保など体制整備を図り、第二次中期経営計画の達成に努められたい。

#### 以下認定（全員）

宍道国民健康保険診療施設事業、老人保健医療事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業、住宅新築資金等貸付事業、公設浄化槽事業、集落排水事業、湖南誘致企業団地建設事業、第二内陸工場団地建設事業、第二卸業団地建設事業、八雲地域開発事業、駐車場事業、下水道事業、公園墓地事業、鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区、鹿島有線テレビジョン放送事業、鹿島電気通信事業、ガス事業会計、自動車運送事業会計、駐車場事業会計

〔用語解説〕

実質公債費比率……実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標。前3年度の平均値を使用。

実質赤字比率……一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率。

連結実質赤字比率……全会計を対象とした実質赤字（資金不足）の標準財政規模に対する比率。

将来負担比率……一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを示しています。

## 地方消費者行政に対する国の支援を

### 委員会提出議案1件、議員提出議案4件を可決

9月30日、総務委員会から提出された委員会提出議案「地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書について」は、全会一致で可決しました。意見書は、消費者行政への継続的で実効的な財政支援、相談窓口の目安の提示、相談窓口を開設できていない自治体が開設できるよう県行政と連携できるような制度の提示、相談員の地位・待遇の向上をはかる制度の創設を求めています。

7人の議会運営委員から提出された議員提出議案（①電力の安定需給対策に関する意見書、②東日本大震災を踏まえ、松江市における避難道路の指定と早期完成を求める意見書、③津波対策を早急に求める意見書、④高潮対策に関する意見書）は、すべて可決し、国、県の関係機関に送付しました。

## 請願・陳情の審議結果

請願・陳情の審議結果は下表のとおりです。

件名	提出者	審議結果
陳情第31号 松江市原子力発電所環境安全対策協議会委員の公募を求めることについて	子どもの人権 オンブズパーソン 代表 木村衣月子	採択 (全員)
陳情第32号 地方消費者行政を充実させるため、地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求めることについて	島根県弁護士会 会長 熱田雅夫	採択 (全員)
陳情第33号 「松江市審議会等の設置及び運営等に関する指針」の見直しを求めることについて	子どもの人権 オンブズパーソン 代表 木村衣月子	不採択 (全員)




市政のここが聞きたい 15人の議員が質問

# 9月定例会 一般質問


※会議録は松江市議会ホームページ (http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html) でご覧いただくことができます。

9月定例会では、9月12日から9月14日までの3日間にわたり一般質問を行いました。質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

**会派代表質問**  
たてわき みちや  
**立脇 通也** (松政クラブ)



- ・新内閣について
- ・財政問題について
- ・教育問題について
- ・体育館建替えについて
- ・未利用地について



## 合併による算定替えて今後の地方交付税

### 質問 見通しは


東出雲町との合併により新たな算定替えがあるが、地方交付税の見通しはどうか。また、合併による新規の事業、想定される歳入歳出の見込額はどうか。

## 算定替えて合併前に東出雲町が交付を受け

### 回答 していた約17億円が交付税に加算される

合併による算定替えの終了期間は平成33年度までとなっている。その間は東出雲町が交付を受けていた約17億円が地方交付税に加算される。その後については、中期財政見通しにおいて推計していく。新規事業及び歳入歳出の見込みについては、東出雲町の決算規模が約50億円程度であり、現行の財政見通しの枠内で対応できる。

**会派代表質問**  
かつら よしお  
**桂 善夫** (公明クラブ)



- ・国政問題
- ・防災対策
- ・障がい者雇用
- ・地上デジタル放送移行対応
- ・小型家電のリサイクル
- ・感染症対策

## 質問 災害弱者が避難する際の支援策を伺う


いざ災害が起こったとき、高齢者や障がい者などは自力で避難することは難しい。こうした災害弱者の避難を手助けする対策を急がなければならない。松江市もモデル地区を設け、実施に向け取り組まれているが、本市の災害弱者の避難支援計画の策定状況について伺う。

## 地区要援護者支援会議を立ち上げ、地域で

### 回答 助け合いを

平成20年9月から民生児童委員、公民館、自治会等々の協力を得て、災害時地域で見守り・助け合い事業（要援護者避難支援登録制度）を実施している。しかし、要援護者の登録者8千4百人に対し、支援者が2千3百人不足している現状である。要援護者のきめ細かな現状把握のために、地区要援護者支援会議を立ち上げ、市はこれを支援する。

**会派代表質問**  
ひら ゆきお  
**比良 幸男** (松政クラブ)



- ・東出雲町と合併し最初の議会（松江・八束郡の合併完了）
- ・平成23年度以降の財政運営について
- ・福祉政策について
- ・観光振興について
- ・産業経済について
- ・教育について

## 中学校の学習指導要領の改訂と教科書採

### 質問 択の全体的な特徴は


中学校の学習指導要領が改訂され、来年度から使用する中学校教科書が採択されたが、全体的にどのような特徴があるのか。

## 指導内容の充実や授業時数の増加が図ら

### 回答 れている

このたびの学習指導要領の改訂では、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成との両方をバランスよくのばしていくことを目指して、指導内容の充実や授業時数の増加が図られている。教科書も、質・量ともに充実が図られ、基礎的な内容の復習や繰り返し学習ができる一方で、発展的な内容を自主的に学ぶこともできる構成となっている。さらに、学んだことを実社会の問題と関連付けて考える仕組みが取り入れられるなどといった特徴がある。

**会派代表質問**  
かわい ひろみつ  
**川井 弘光** (市民クラブ)



- ・新しい発想による中海の活用策
- ・「地域公共交通」と「まちづくり構想」
- ・幼児教育・保育サービスの将来ビジョン

## 質問 新発想で「中海」の積極的な活用を


地域住民共通の大切な資源である中海を有効に活用するために、みんなが守るべき基本ルールと、それを管理運営するシステムや組織が必要。その基礎となる基本方針を早く示すべきだ。中海は、新しい発想で絵を描くことができる「大きな可能性を秘めた海」である。松江市の役割は重く大きい。松江市が先頭に立って、活用策を模索・検討すべきだ。

## 中海市長会が実質的にリードすべき

### 回答 松江市は中心的な役割を果たしたい

島根・鳥取両県知事が共同議長で国土交通省、農林水産省、沿岸自治体を構成員として立ち上げられた中海会議において、中海活用の基本方針などを策定すべき。中海市長会が実質的に課題を提起し、中海会議をリードしていくことが望ましい。松江市は中心的な役割を果たしていきたい。

**いつか ていこ**  
**飯塚 悌子** (共産党議員団)



- ・福祉・防災のまちづくり
- ・住宅リフォーム助成の拡大
- ・松江城天守保存功労者の功績評価、普及

## 質問 住宅リフォーム制度の継続、拡充を

松江市では住宅リフォーム助成事業として、木造住宅耐震改修促進事業が実施されていますが、利用が低迷しています。助成対象を拡大し、利用しやすい制度に改善を求めます。


県はバリアフリー化を含む「しまね長寿の住まいリフォーム助成事業」を実施しています。市民の利用は多く、来年度以降も継続、事業の拡充を県に要請されるよう求めます。

## 回答 島根県に要請したい

耐震改修支援を実施して3年を経過し、実績は5件と低調で、耐震改修費用が高額になってリフォームに結びつかないと考えています。改善については個人資産の形成と公益性との関係で今後研究していきたい。県事業については拡充策も含め次年度以降も継続を要望してまいります。



**のつ てるお**  
**野津 照雄** (松政クラブ)



- ・公的施設、観光場所、公園等における喫煙場所と整備について
- ・ホーランエンヤ記念館のイメージ管理方法開館時催事計画について
- ・中海・宍道湖の水産業の現状と今後の見込み、対策、事業計画について
- ・大橋川改修事業について

## 質問 矢田地区との協議は具体案を示す時期


朝酌矢田地区での協議には、具体案、たたき台を提示のうえ折衝にあたる時期ではないか。例えば、家屋移転対象の場合、数戸単位の団地を造成し、生活道路、連絡道路、上下水道のライフラインを整備する。対象家屋プラスアルファの造成をすると新しいまちづくりにも繋がると思うがいかがか。

## 今以上に住みやすい場所になるよう地域

### 回答 の整備をやっていきたい

将来設計を検討するにあたり、基盤整備、生活道路、移転先確保、上水道等のライフライン整備等が非常に重要な事柄とご意見をふまえ、移転先候補地調査、関連事業の調査を行っていく必要があると思う。ホーランエンヤの五大地として伝統が守られるように集落を維持し、今以上に住みやすい場所になるように地域の整備を行いたいと考えている。

**たなか とよあき**  
**田中 豊昭** (松政クラブ)



- ・原子力災害対策検討プロジェクト会議について
- ・原子力防災について
- ・原子力防災避難道路について
- ・発電所の緊急対策について
- ・3号機工程及び制御棒駆動装置について

## 避難道路についても橋梁の耐震診断とあ

### 質問 わせて行うべきであると思うがどうか


橋梁については、阪神大震災以降、耐震性の検討が始まっている。道路に対する診断も併せて行うべきであると思うがどうか。また、川津、黒田町周辺道路の液状化の可能性はないか。

## 原子力災害対策プロジェクト会議において、避難道路の確保、充実について検討

### 回答 している

避難経路における危険箇所の把握等行っていきたいと考えている。橋梁調査は補正予算成立後に実施する。その他主要な構造物等の安全性は来年度以降検討する。また、避難経路の設定については、液状化を含む危険箇所の把握を行い、検討する。

**もりもと ひでとし**  
**森本 秀歳** (市民クラブ)



- ・「ものづくり」を中心とした産業振興策について
- ・学校図書館活用教育について

## 製造業の将来像をどのように描いている

### 質問 のか

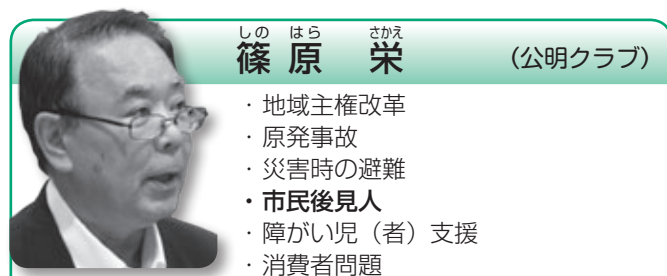
合併により、松江市に「ものづくり」の機能が加わることに、大きな期待が寄せられているが、製造業の将来像をどのように描いているのか。

## 活力ある町とするため、産業振興施策に

### 回答 ものづくり産業を位置づける

活力ある町とするために定住対策が必要であるが、そのためには産業振興策が大事であり、これまでの観光やITに加えて、ものづくり産業を位置づけしていく。様々な課題がある中で、製造業と他の分野とが連携を図ることによって幾分なりとも解決されるものと考えている。具体的に進める中で、行政が単にリードするのではなく、主役である企業の方々がまずは取り組んでいくことが必要であり、行政はそれをサポートしていくことが役割であると考えている。





しの はら さかえ 篠原 栄 (公明クラブ)

- ・地域主権改革
- ・原発事故
- ・災害時の避難
- ・市民後見人
- ・障がい児(者)支援
- ・消費者問題

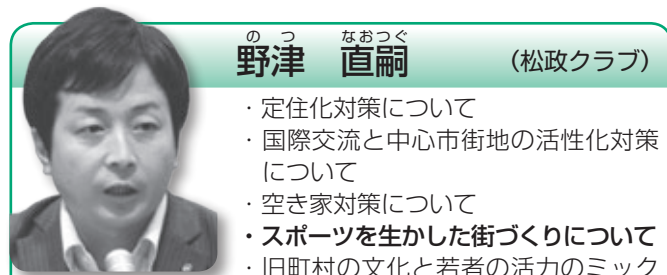
**質問** 市民後見人養成事業の重要性と事業内容は

市の委託で、社協が市民後見人養成事業を始めたが、重要な事業であり時期を得た養成講座である。重要性と事業内容について伺う。

**回答** 成年後見制度の必要性について理解を

**回答** 深めるため積極的に取り組む考え

成年後見の担い手として、専門職以外の市民後見人の役割が今後さらに強まるものと考えられる。内容は、基礎講座が12時間、講座終了後は後見支援員として活動していただく。次年度は実務講座を受けて市民後見人候補者として、松江市成年後見センターに登録していただく予定である。



の っ なおつ く 野津 直嗣 (松政クラブ)

- ・定住化対策について
- ・国際交流と中心市街地の活性化対策について
- ・空き家対策について
- ・スポーツを生かした街づくりについて
- ・旧町村の文化と若者の活力のミックスについて
- ・子育て支援施策について
- ・メディアリテラシーについて

**質問** スサノオマジックのパワーを幅広い形で支

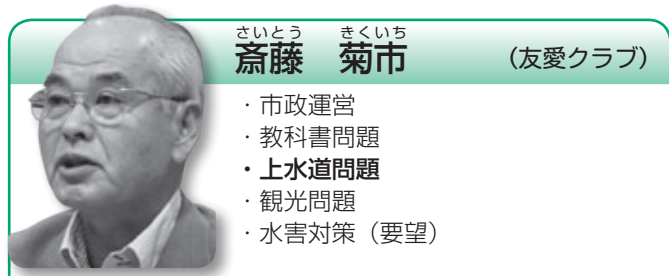
**質問** 援し街の活性化に生かせないか

スサノオマジックを積極的に支援し、地域活性化の起爆剤とするための新しい施策、活用策などはないか。

**回答** 地域・民間・行政が一体となって支援に取

**回答** り組む必要があると考える

地域の広告塔として子どもを対象とした教育活動や地域貢献活動を活発に行うことで、市全体の活性化を目指していきたい。またスサノオマジックの商品開発や販売促進など、民間企業に積極的に取り組んでもらえるように市としても支援していきたい。



さいとう きくいち 斎藤 菊市 (友愛クラブ)

- ・市政運営
- ・教科書問題
- ・上水道問題
- ・観光問題
- ・水害対策(要望)

**質問** 水道漏水事故の料金軽減や点検調査を

水道漏水により高額料金を支払うケースの実態、漏水と小規模地震との関連性はどうか。また漏水事故の災害認定緩和や料金軽減、設備改修融資や点検補助はできないか。十年単位の漏水調査を要望する

**回答** 要綱改正は難しい 管理は自己責任で

地下漏水の発見は非常に難しく、その原因は経年劣化によるものが多いし、鳥取西部地震での被害報告もなかったことから、小規模な地震との関連性は薄いと思われる。宅内漏水事故は年350件程度あり、支払最高額は事業所で280万円、住宅38万円で、漏水料金は要綱で半額減免しているため、厳しい経営実態からはそれ以上の軽減は難しい。

設備改修への融資制度や点検補助制度については、宅内の配管は個人財産であるため、あくまでも使用者側の責任において管理していただくことが原則となるため、考えていない。



かたよせ なおゆき 片寄 直行 (共産党議員団)

- ・平和行政
- ・原発とエネルギー問題
- ・地域防災計画

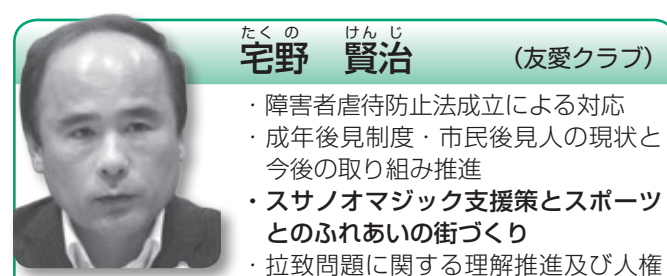
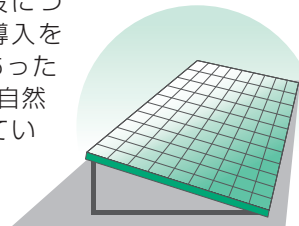
**質問** 自然エネルギー推進への市の対応は

原発の「安全神話」は完全に崩壊した。国内にある54基の原発の総発電能力の40倍もの自然エネルギーのポテンシャルを有効利用するならば、原子力にかわる代替エネルギーの確保は可能と思う。

松江市は、公共施設に太陽光発電などを設置する方針だが、一歩踏み込んで、新設する総合体育館、市営住宅、学校施設への導入の決意は。

**回答** 総合体育館にも自然エネルギーを導入

今後、新設する公共施設については自然エネルギーの導入を進めていきたい。提案のあった新しい体育館においても、自然エネルギーの導入を進めていきたい。



たくの けんじ 宅野 賢治 (友愛クラブ)

- ・障害者虐待防止法成立による対応
- ・成年後見制度・市民後見人の現状と今後の取り組み推進
- ・スサノオマジック支援策とスポーツとのふれあいの街づくり
- ・拉致問題に関する理解推進及び人権教育・啓発の推進

**質問** スサノオマジックの支援策を進化させていく

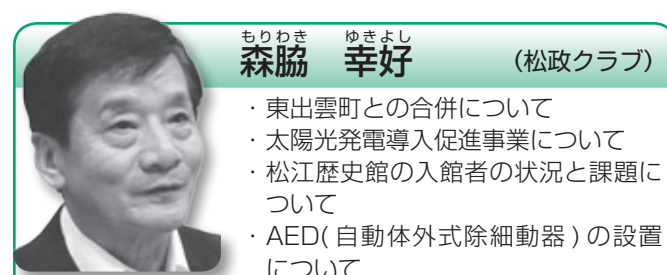
**質問** 取り組み必要では(提案)

例えば、市内65歳以上の方が観戦する場合は、入場料半額として、プラスお孫さんと一緒に観戦の場合はお孫さんを一人まで無料とすると、核家族化が進む中で、高齢者と子どもとの世代間交流の場となる施策などに対して、行政として支援すると、支援策を従来型から進化させていき、市民にスポーツとの触れ合いによる街づくりの推進をすることが必要では。

**回答** スサノオマジックのチーム運営会社と

**回答** 協議したい

高齢者の方が孫世代の子どもたちと一緒に試合観戦をして、スサノオマジックの活躍を楽しんでもらうことは、心身の健康増進、それから世代間交流にもつながると期待できる。今後、チーム運営会社と協議してまいりたい。



もりわき ゆきよし 森脇 幸好 (松政クラブ)

- ・東出雲町との合併について
- ・太陽光発電導入促進事業について
- ・松江歴史館の入館者の状況と課題について
- ・AED(自動体外式除細動器)の設置について
- ・地域防災無線整備事業について
- ・行政情報住民告知システムの整備及び屋外スピーカー整備事業について
- ・津波対策推進法について
- ・玉造温泉駅舎及び周辺整備について

**質問** 避難所となる公民館への屋内端末機の設置

**質問** 状況と計画は

災害時の一時避難所となる公民館への屋内端末機の設置状況と計画はどのようになっているか。また低所得者はマールテレビの接続が困難であり、情報が入らなくなるが、どのように考えているか。

**回答** 避難所に無線の受信機設置を検討する

災害時に屋外スピーカーと同じ情報が伝わる無線の受信機を各集会所に設置する方向で検討する。屋外スピーカーも現計画を見直し、数十カ所増設の検討をしている。低所得者の端末機設置については、加入料、利用料の低減を山陰ケーブルビジョンに要請する。



きたに まい 貴谷 麻以 (松政クラブ)

- ・特例市を視野に入れた宍道湖・中海流域の水質保全について
- ・県内外の「水の輪の絆」づくり、流域連携促進について
- ・市民活動支援と協働の今後について
- ・職員人事評価に地域活動、市民活動を導入
- ・日本女性会議について
- ・産業振興について

**質問** 大震災以後企業の分散化が考えられるが

**質問** 本市の産業振興は

3月11日以降、エネルギーも工業製品のサプライチェーンもキーワードは「分散」になりました。Rubyの世界会議は松江で行われますが、企業は松江から分散していくことも考えられます。子どもや孫が松江市に戻ることができるかどうかは、市民として切実な問題です。産業振興についてのお考えをお聞かせください。

**回答** 今後の社会状況の変化に対応していく

**回答** また企業誘致を積極的に進めたい

今後必ず円高、東日本大震災の影響が出てくると思われるので対応していきます。また優れた企業誘致条件をPRし、努力を続けたいと思います。

**平成23年12月定例会日程**

月	日	曜日	会議名
12	2	金	本会議(会期の決定・提案説明・決算特別委員会設置) 決算特別委員会(正副委員長互選)
	7	水	本会議(一般質問)
	8	木	本会議(一般質問)
	9	金	本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
	12	月	総務委員会
	13	火	教育民生委員会
	14	水	経済委員会・建設環境委員会現地視察
	15	木	建設環境委員会
	16	金	決算特別委員会
	20	火	決算特別委員会
	22	木	本会議(委員長報告・討論・採決)



## 委員会行政視察報告

### 図書館活用教育先進地などを視察

平成23年10月3日～5日

教育民生委員会 南波 巖 委員長

人口17万人の東京都日野市と8万5千人の東京都稲城市は、昭和30年代からの高度成長の波に乗って急速に人口が増加した多摩丘陵地帯の多摩ニュータウン都市で、高齢者率は約20%前後であるが、古い団地地域では高齢者率が50%を越える地帯があり、いずれも高齢者対策に力を入れている。

**日野市**の「高齢者見守り支援ネットワーク事業」は75歳以上の高齢者宅の訪問調査で実態把握をし、高齢者の異変発見や特定の登録者の安否確認を見守り隊登録した住民や事業所が支援する仕組みであった。また、地域に「交流サロン」拠点を開設し、高齢者のたまり場をつくることにより自然に見守りができる状態を作り上げていた。

**稲城市**の「介護支援ボランティア制度」は国内で初めて高齢者の介護支援ボランティア活動制度を実施し、その活動評価により「介護支援ボランティア評価ポイント転換交付金」（上限5千円）を付与し、高齢者の社会貢献参加や生きがいを介護予防の推進に役立てていた。

人口約13万6千人の山形県**鶴岡市**にある、朝陽第一小学校の「図書館活用教育」は全国的に有名。朝8時に学校を訪れたら、児童たちが図書館にひっきりなしに出入りして活気づいていたのには驚いた。人のあふれる図書館は、児童たちで貸し借りの管理を行い、秩序よく素早く動いていた。始業前のボランティアによる読み聞かせ、図書を活用した、想像力と考える授業などを参観し、子どもの感性や知性を育てる教育の手法を学んだ。

今後、松江市政にも反映させていきたいと思う。



図書を活用した授業（鶴岡市朝陽第一小学校）

### 便利で使いやすい地域交通を視察

平成23年10月5日～7日

総合交通対策特別委員会 森脇 敏信 委員長

総合交通対策特別委員会では一畑電車問題、市内のバス交通網及び新型路面電車等、総合的な交通問題についての調査を行っている。松江市では、地域の交通を守るため、一畑電車に対して支援を行ったり、コミュニティバスを運行している。そこでこのたびは、①香川県**高松市**の琴平電鉄の利用促進及び活性化策である、イルカカード（交通系 IC カード）の活用について、②岡山県**井原市**の井原鉄道への支援策及び運行されている単行（1両）車両について、③広島県**安芸高田市**のお助けワゴン（デマンド交通<sup>\*</sup>）の取り組みについて、視察を行った。



お助けワゴンの説明を受ける議員（安芸高田市）

中でも、お助けワゴンの取り組みについては、平日の午前8時から午後4時までの間、定期バス交通をやめ、事前に予約をして利用するデマンド交通にするもので、市内を4つの区域に分けて10台のワゴンを運行させ、市民の皆さん、特に高齢者の皆さんの交通を確保するもので、今後検討する価値のあるものだった。

<sup>\*</sup>デマンド交通：希望する場所から場所までの移動を定額で提供する新しい公共交通サービス

### 皆様のご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86  
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)  
電話 (0852)55-5433  
ファックス (0852)55-5533  
議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス  
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html>

毎回、八人のメンバーで何度も編集会議を開いては意見を出し合い、わかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。限りある紙面をどう効果的に使おうかと頭をかかえることも多い中で、第九号が完成しました。議会だよりを通じて、市民の皆さまが議会を身近に感じてくださるよう、さらに努めてまいります。

議会広報等特別委員会  
副委員長 田中 明子

編集後記